

表の見方No. 1

基本目標	1. ホタルが飛び交う自然豊かなまち（風土の保全・誇りと愛着） まちのシンボルであるホタルが飛び交う自然環境、生活環境を地域が一体となって守り、ホタルをはじめとした辰野町らしさ、良さに誇りと愛着を持った町民や関係人口をなどがいるまちを目指します。
施策の考え方	まちには、ゲンジボタルが舞う松尾峽に代表されるように豊かな自然環境が残されています。このような自然環境は、町民共有の財産であり、辰野町らしさ（風土）を形成する地域資源です。 ホタルをはじめとした辰野町らしさ、良さを町内外に伝えることで、まちへの誇りと愛着を持つ町民を増やし、地域づくり活動の機運を高めます。 また、人口が減少する中で、地域の活力を維持するためには町外の力にも目を向ける必要があります。地域資源を活用したイベント等を通して、地域づくりに参加する関係人口を増やします。
施策	1ー1. ホタルが飛び交う環境の保全
現状と課題	・辰野町では町民、事業者、行政が一体となり、まちのシンボルであるホタルが飛び交う環境を守っています。 ・しかし、手入れが行き届かなくなった農地や森林が散見されるようになってきています。このような農地・森林に太陽光発電施設が建設され、環境や景観に影響を及ぼしていることもあります。
施策の方向性	・まちの様々な場所で、ホタルが飛び交う環境を次代に引き継ぎます。 ・町民、事業者、行政が環境について改めて考え、地球温暖化の防止や水環境の保全など自然環境を守るとともに、環境に調和した再生可能エネルギーの有効活用等による循環型社会を構築していきます。

まちの将来像を実現するため、下記の基本目標を定め、この基本目標に沿って基本計画を展開します。

施策に取り組む際の方針を示しています。

A～Dの評価基準に基づき評価しています。
A: 目標に向かって順調に進んでいる(80%以上)
B: 目標に向かってある程度進んでいる(50～80%)
C: 目標に向かってあまり進んでいない(30～50%)
D: 目標に向かって進んでいない(30%以下)

1. 施策に関連する主な取り組み								
事業分類 主な事業名			施策 CD	取組内容及び成果 (重点的に取り組んだ内容等)	評価	継続	協働・ 共創	担当課／ 担当係
自然 環境 の 保 全	1	主要河川・地下水等の環 境調査の実施	1111	・河川、井戸水、最終処分場跡地等の水質検査を実施。	A	B	→	住民税務課／生活環 境係
	2	森林の整備と保全	1112	・森林整備は上伊那森林組合、フォレストエコシステムを中心に山林所有者の理解を得ながら4月～12月にかけて35.27haの森林施業を実施。 ・森林の里親促進事業は、積水樹脂プラメタルは4月にしだれ栗森林公園で、オリンパスは10月にかやぶきの館周辺の里山で森林環境整備などを実施。	A	B	↗	産業振興課／林務係
	3	田園風景の保全	1113	・中山間地域等直接支払事業では9集落が取り組み、自然環境の維持に努めている。また、内4地区では棚田地域振興活動加算に取り組み、農作業参加者の人員増大や地域の発展につながる取り組みを実施。 ・多面的機能支払交付金事業では、13活動組織が地域共同による農地維持活動及び資源向上活動を実施。このうち7活動組織が老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等の活動を実施。	A	B	→	産業振興課農政係/ 耕地係

A～Dの評価基準に基づき評価しています。
A: 拡大して継続
B: 現状の規模で維持
C: 縮小(改善・改良)して継続
D: 廃止する

協働・共創の視点から行政以外の主体(町民・地域等)に期待することを示しています。
↗: 高まっている
→: 現状維持
↘: 停滞

2. 指 標												
指標名			単位	基準	R3	R4	R5	R6	R7	目標	数値の把握方法	担当課／ 担当係
進 捗 管 理 指 標	1	1人1日あたりのごみ排出 量	g/人日	519	511	542	545			485	環境省「一般廃棄物 処理実態調査結果」	住民税務課／生 活環境係
	2	ほたる童謡公園内のゲン ジボタル目撃数	匹/年	43,368	196,978	148,042	113,503			100,000	目撃数調査/年	産業振興課／観 光係
成 果 指 標	1	「豊かな自然や風景が守ら れているまち」と思う町民の 割合	%	80.1	—	—	—	—		83.0	町民意識調査の実施	まちづくり政策課 ／まちづくり係

施策の成果を測るための【成果指標】と施策の進捗状況を管理するための【進捗管理】を示しています。

表の見方No. 2

基本目標	基本方針1(組織・職員)：強く柔軟な組織づくりと働き方改革 組織目標の達成に向け、一丸となれる組織文化の形成を図りながら、能率的な行政運営を実現するために、職員の人材育成に努めるとともに、新たな時代に対応した働き方改革を推進します。
------	--

行財政改革を推進するための基本目標となります。

戦 略	1 組織経営の強化
戦略の方向性	【1】組織体制の効率化 時代の変化に柔軟かつ迅速、的確な対応を可能とする行政体制の確立を図ります。内部統制によるリスクマネジメント(危機管理)を強化し、コンプライアンス(倫理法令遵守)の徹底を図ります。 【2】人件費の抑制 急速な人口減少を見据えた「定員管理計画」のもと、計画的な職員採用を進めます。再任用職員の能力と経験を生かし、世代間バランスの取れた組織体制の構築に取り組みます。

基本目標を達成するための具体的な内容となります。

1. 戦略に関連する主な取り組み						
取組内容			施策CD	取組内容及び成果 (重点的に取り組んだ内容等)	評価	継続
1	1	効果的・効率的な組織、事務分掌への見直し	G111	DXの推進に伴いデジタル化を含めた業務の効率化を図るため「風通る職場づくりプロジェクト」を継続し、併せて「業務効率化促進プロジェクト」を新規に立上げ、職員個々の能力開発を図った。	B	B
	2	変化に柔軟に対応できる組織体制の構築	G111	本年度からゼロカーボン推進係が創設され、生活環境係とともに事業を推進した。また、令和5年度4月に子ども家庭庁の創設に伴い、子ども政策推進を図るために、当該業務の機能強化、総合的に取り組む部署として子育て応援課を設置した。	B	B

A～Dの評価基準に基づき評価しています。
 A: 目標に向かって順調に進んでいる(80%以上)
 B: 目標に向かってある程度進んでいる(50～80%)
 C: 目標に向かってあまり進んでいない(30～50%)
 D: 目標に向かって進んでいない(30%以下)

2. 目標値										
取組内容			単位	目標実績	R3	R4	R5	R6	R7	数値の把握方法
1	1	効果的・効率的な組織、事務分掌への見直し	件	目標	—	2	2	2	2	プロジェクトチームによる見直し件数
				実績	—	3	3			
	2	変化に柔軟に対応できる組織体制の構築	件	目標	2	2	2	2	2	行革推進本部提言書(提言項目)
				実績	4	3	4			

A～Dの評価基準に基づき評価しています。
 A: 拡大して継続
 B: 現状の規模で維持
 C: 縮小(改善・改良)して継続
 D: 廃止する

定めた目標に対しての取り組み内容の実績を示しています。